

## 地球の未来まできれいにしよう 2012年度「アムウェイ・クリーンアップ」結果報告

# のべ 2,904 人が参加、2.4tのゴミを回収

## 回収ゴミの種類が大きく変化 第1位はカキ養殖用のパイプ(29,270 個)

日本アムウェイ合同会社(本社:東京都渋谷区宇田川町 7-1 社長:マーク・バイダーウィーデン)のアムウェイ・ネチャーセンターは、2002年より全国各地の海岸を中心にゴミ拾いを行う「アムウェイ・クリーンアップ」を実施しています。11年目となる本年度の活動は群馬県を皮切りにスタートし、11月の京都府鴨川で終了、合計2,904人が参加し、約2.4tのゴミを回収いたしました。2002年度より本年度までに、のべ51,935人が参加、約47.8tのゴミを回収したことになります。

また、本年度回収したゴミの個数で最も多かったのが、カキ養殖用パイプとなっており、昨年度もっとも多かったゴミの発砲チロール(小)が5番目であった等、その種別が大きく変化していました。

本年度のアムウェイ・クリーンアップの開催日時と回収ゴミの種類については、下記をご参照ください。

## ■2012年度 アムウェイ・クリーンアップ開催日時・場所

開催月日	開催地		参加者数	(大人)	(子供)	ゴミの量(kg)
4/1	群馬県	前橋市利根川河川敷	230	167	63	350.0
4/21	愛媛県	伊予市ふたみシーサイド公園	132	108	24	97.0
5/27	岡山県	玉野市洪川海岸	100	77	23	2.5
6/3	長野県	諏訪市諏訪湖石彫公園	171	122	49	34.1
6/10	福島県	猪苗代湖志田浜	236	193	43	60.0
6/17	静岡県	浜松市遠州灘海浜公園	264	237	27	132.0
6/24	山形県	鶴岡市湯野浜海岸	129	118	11	155.0
7/1	大分県	杵築市奈多海岸	100	79	21	150.0
7/7	愛知県	美浜町奥田海水浴場	302	229	73	252.0
7/15	高知県	高知市中央公園	83	67	16	17.9
7/22	滋賀県	琵琶湖草津市ホワイトビーチ	178	153	25	52.0
8/19	新潟県	新潟市関屋浜海水浴場	106	86	20	90.0
9/16	北海道	小樽サンセットビーチ	206	167	39	336.0
10/14	和歌山県	和歌山市磯ノ浦海水浴場	197	155	42	220.0
10/14	広島県	廿日市市宮島包ヶ浦	154	110	44	98.0
10/21	沖縄県	恩納村仲泊海岸	175	144	31	296.5
11/4	京都府	鴨川・高野川	141	116	25	128.8
2012 合計			2,904	2,328	576	2,471.8
2002 年からの総合計			51,935	39,000	12,935	47,780.3

## ■2012 年度ゴミ別回収量

順位	ゴミの種類	個数	順位	ゴミの種類	個数
1	カキ養殖用パイプ	29,270	6	発砲スチロール破片:(1 cm <sup>3</sup> 以上)	6,837
2	硬質プラスチック破片	28,485	7	食品の包装・容器	3,728
3	プラスチックシートや袋の破片	27,483	8	ふた・キャップ	3,593
4	タバコの吸殻・フィルター	12,437	9	花火	2,941
5	発砲スチロール破片:(1 cm <sup>3</sup> 未満)	7,893	10	紙片	2,458

### 参考資料

#### <アムウェイ・ネイチャーセンター>

アムウェイ・ネイチャーセンターは、1989年10月20日に自然保護活動への支援を通して継続的に社会に貢献していく拠点として、日本アムウェイ合同会社内に設立されました。以来、自然保護活動を支援する「環境基金キャンペーン」を活動の柱としながら、環境保護への関心と理解を深めるきっかけとなる、自然観察会など独自のプログラムを展開しています。豊かな自然と調和のとれた社会を次の世代へも引き継いでいくこと。そのために、まず一人ひとりが自覚を持つことが大切だと考えています。

#### <アムウェイ・クリーンアップ>

2002年よりスタートしたアムウェイ・ネイチャーセンターの活動です。10周年を迎えた昨年2011年より「地球の未来まできれいにしよう」を新たなキャッチフレーズに、ただゴミを拾うだけでなく、各会場で拾ったゴミの種類や数を分別・分析し、参加者がゴミの実態についての認識を深め、自分達の生活を省みることを目的としています。次世代を担う子どもたちに環境の大切さを伝え、行政・教育団体・地元団体の協力のもと毎年着実に広がりを見せています。

また、ゴミの調査結果は、日本のビーチクリーンアップ・コーディネーターの一般社団法人JEANクリーンアップ全国事務局を通じて、米国の環境NGOオーシャン・コンサーバンシーに提供することで、世界規模の調査に役立っています。

#### 本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

日本アムウェイ合同会社 コミュニケーション部

PRグループ 青木

Tel: 03-5428-7721 Fax: 03-5428-7934